

くらしの願い、まっすぐ市政に届けます



日本共産党市会議員

イモト有 ニュース

第19号

2021年
10月13日

井本 有
☎080-3831
-3159

9月議会で一般質問

2021年9月定例市議会が、9月7日から開かれ、私、井本ゆいちは9月13日に一般質問をしました。



質問をする井本

災害時の避難所について

8月17日の大雨により、10地区に対して高齢者等避難が出され、避難した方は、14世帯18人となりました。このうち、連絡所に自主避難された高齢者が、一般の避難所や福祉避難所に移ってもらうことも

なく、横になるのに介助してもらうことが出来ず、結局民間介護事業所職員に迎えに来てもらい帰宅しなければならなかったということが起こりました。

質問 地域防災計画では、高齢で介護が必要な方などの避難者がいる場合、福祉避難所の開設をすることになっているが、開設に至らなかったのはなぜか。

答 福祉避難所は大規模な災害発生時に開設するもので、8月17日の警報発令時には開設に至らなかった。

質問 今回の自主避難者への対応を検討し、今後の取り組みや要配慮者への対応を適切にしてほしいかどうか。

答 本部として、情報収集や共有方法に課題があった。迅速かつ適切な対応ができるように関係対策部と連携する。

水路の安全対策について

去年、市民が自転車ごと水路に転落し死亡する事故が3ヶ月連続で起こりました。今後どのように対策をしていくかが重要です。私有地で柵を設置できなかったり、水路管理の点で、ふたをできないということもありますが、市民の安全を守るために、できる限りの可能性を追求し、対策を取っていただきたいと思います。

質問 水路への転落の危険があるような場所では、市道においてどのように危険箇所を判断し、対策をしているか。

答 カーブや水路への転落の危険箇所を意識しパトロールを行うとともに、市民からの通報、地元自治会及び学校関係者からの情報提供や改善要望を基に、総合的に判断し現地に即した転落防止策を実施している。

六十谷水管橋崩落で

一週間断水

紀の川にかかる六十谷水管橋が突然崩落しました。私は土木工学を学び、設計会社で働いていたこともあり、なぜあんなに大きな橋が落ちたのか不思議でなりませんでした。

この水管橋は鉄製の橋で、形式はラングー補剛式というアーチ橋の一種です。上部のアーチ部分が主になって送水管を吊り下げている形です。事故後の調査で他の崩落していない橋の部分



で、吊り下げ部材が断裂しており、崩落した橋も同じような状態だったことが濃厚です。吊り下げ部材が切れると、送水管が自分の重さを支えられ

なくなり落下し、それに引きずられる形で上部のアーチも折れ曲がり、全体が崩落してしまったようです。

さらに大きな問題は、この六十谷水管橋が河西北地域への唯一の水道送水ルートだったことで、復旧するまで約6万戸13万人が断水してしまっただけです。議会ではこれまでも、北側にも浄水場を建設するべきだとか紀の国大橋に送水管を添架させるとか、加納浄水場から紀の川の下にトンネルを掘ってバイパスさせるなど、議論はされましたがどれも実現できていませんでした。

断水した地域では、飲み水、調理、皿洗い、洗濯、トイレ、風呂と日常生活のあらゆる面で苦しい思いをしました。

この河西北地域への送水の本格的な復旧と同時に、今後の北側での浄水場建設やバイパスの設置を皆さんの声を取り入れて取り組んでいかなければなりません。

マイドキュメント

9月議会の後半部分の決算委員会が開かれようとしていた矢先に六十谷水管橋の崩落事故が起こり、早々に議会が閉じられ、対策本部が設置されました。それ以降連日対策会議で皆さんから寄せられる要望を伝えてきました。

仮のバイパス管が設置され、やっと日常の生活がもどろつつありますが、休む間もなく衆議院選挙です。

安倍・菅政権で味わった冷酷な自己責任政治に今度こそピリオドを打ち、私たちの命を大事にする政権に切り替えましょう。

みなさまと力を合わせ日本共産党への支持の輪をひろげるために頑張ります。

あなたの力をお貸しください

#比例は共産党